

令和元年度第1回小俣地区地域審議会会議概要

- 1 開催日時 令和元年11月14日(木)午後7時00時～午後8時30分
- 2 開催場所 伊勢市小俣総合支所 2階 第1・第2会議室
- 3 議事内容 (1) 報告事項
ア 地域公共交通再編について
イ 施設使用料の見直しについて
(2) 意見交換
ア 市民憲章について
イ 市の花、木について
ウ 施設類型別計画について
(3) その他
- 4 出席委員 西出剛委員、岩尾昇平委員、吉田進一委員、越智晶俊委員、馬瀬洋子委員、太田陽三委員、坂村春美委員、正住興彦委員、永多聡子委員、出口正昭委員、
- 5 欠席委員 織家貞雄委員、大北喜代壽委員、廣政男委員、村田恵子委員、中川欣也委員
- 6 出席職員 情報戦略局参事、企画調整課課長補佐、交通政策課副参事、同課主幹、小俣総合支所長、同副参事、同主事

7 議事概要

- ・出席人数の確認

(1) 報告事項

ア 地域公共交通再編について

交通政策課から再編素案、再編前後ルート等、市が取り組んでいる状況について説明

【委員からの意見・質問】

- ・需要の小さいルートを廃止するというのは経費のことを考えればやむを得ないことと思う。しかし団塊の世代の市民が、免許返納をするようになると、おかげバスの存在意義は更に大きくなる。その時代に応じて、必要な運行路線を検討してもらいたい。

- ・「デマンド」という言い方をされているが、横文字は高齢者にはわかりにくいので、丁寧に市民に説明してもらいたい。

- ・おかげバスが運行を始めた当初、明野から日赤まで行くには小俣図書館で乗り換えをしなければならなかった。しかも乗り換えのバスがすぐに来るわけでもなかった。現在の運行ルートには明野から日赤まで直通で行けるルートがあり、便利になっている。今後も、病院利用者が利用しやすい運行時刻を組んでいただきたい。

- ・バスの話ではないが、最近伊勢市内のタクシーが少なくなっていて問題だと感じている。今年のゴールデンウィーク中に、伊勢市駅前に宿泊していた観光客が、急病になり、小俣の医院を紹介され、タクシーで来院しようとした。しかしタクシーは観光客の予約で空いておらず、やむなく近鉄を使われたという事例があった。これでは、観光地として恥ずかしいのではないかと。観光客が多い時にも、病院へ行くためのタクシーは別枠で確保していただきたい。

⇒タクシーが少なくなっているため、本来なら救急車を呼ぶほどの症状でなくても、救急車を呼ばざるを得ないケースが伊勢市内で増えてきているという実態は、医師会から伺っている。市としても市内のタクシー会社全社を回り、状況を確認したところ、最大の課題は運転手不足と高齢化にあることがわかってきた。大半の運転手が70歳以上になっている上、最近は働き改革で無理な残業も出来ないという傾向で、どこのタクシー会社も問題意識は持っているが、なかなか対応しきれない現状である。タクシー業界は許可制度で成り立っており、他の営業区域から応援を来ってもらう等の融通も利きづらく、難しい問題である。現在、観光協会と商工会議所、市と国交省も加わって、タクシー問題を研究する会を立ち上げて議論を始めたところであり、どのような答えが出るかはまだ不透明だが、ご理解いただきたい。

- ・宮崎に出掛けた時、宮崎空港付近は数珠繋ぎの状態です。タクシーが止まっていた。それを見て、伊勢は本当に観光地か？という思いを持った。

- ・保育園や幼稚園の送迎バスの運転手さんは、朝と夕方以外は時間が空いているのではないかと。そういった方にご協力をいただけないものだろうか。

⇒無償で行うなら問題はないが、日本では自家用有償での実施については大変厳しく、タクシー業界からは必ず反対を掲げられ、難しいものがある。

イ 施設使用料の見直しについて

企画調整課から、合併調整内容であった施設使用料の統一に関し、平成31年2月28日に策定した「施設使用料に関する見直し指針」について説明

【委員からの意見・質問】

・長い間、安価で使用させてもらっていることには感謝している。今後値上げされたとしても、妥当だと思う。施設を使用させてもらっている大半は年金生活者という現状だと思うので、施設使用料の値上げについて心配をしていたが、大したことはなさそうで安心した。

⇒現時点では、あくまでこういう基準で見直していくという方向性を示すのみで、具体的な内容は、今後の施設類型別計画の進捗に合わせて整理していく。

(2) 意見交換

ア 市民憲章について

企画調整課から市民憲章に係るこれまでの経過（合併前の伊勢市の市民憲章、合併10年後の検証時の状況、総合計画の基本構想の理念）及び県内の状況等について説明し、委員から意見を頂いた。

【委員からの意見】

・市民にアンケートを取ってみても面白いのでは？年配の人も大事ではあるが、小学生や中学生が伊勢で生まれて育っていく過程において、自ら考え自ら作ったビジョンというものがあれば、非常に大きな成果を発揮していくと思う。是非とも早くやっていただきたい。

・合併からはもう10年以上も経ってしまったが、未来のある若い方々の意見も伴っていければ、良い機運になって、また新しい気持ちになれるのではないか。

・基本構想のまちづくりの基本理念でも良いのではないか。

イ 市の花・木・鳥について

企画調整課から上記アと併せて県内の制定状況等について説明し、委員から意見を頂いた。

【委員からの意見】

・小学生や中学生が描く絵を見ていると、夢を持って描いていると感じる。そんな子どもたちと、先生方にも一緒になって取り組んでもらったら、ものすごく良い木や花が出てくると思う。

- ・広報の中で募集すれば、良い案が出てくるのではないかと。

ウ 施設類型別計画について

企画調整課から施設類型別計画の概要を説明し、特に支所、総合支所の再編に係る内容について、委員から意見を頂いた。

【委員からの質問・意見】

- ・本庁へ行くたび、狭いということを常々感じてしまう。市の中心部で狭い現在の庁舎は高い賃料でどこかに貸して、市自体は例えばララパークの近辺で価格も安く、広い駐車場もあるようなところに移転することは出来ないものだろうか。

⇒全国的にはPFIという手法で、例えば学校の中に福祉施設や居住スペースがあって、複合施設的なもので一棟を有効に活用している京都の御池中学の例などがある。このように、建物の中に福祉施設を有する例はあるが、全部を民間に引き渡すことは出来ないと考えている。仕組み的には難しいと考えられるが、出来る範囲で民間的な発想を取り入れていければ良いと思う。

以上